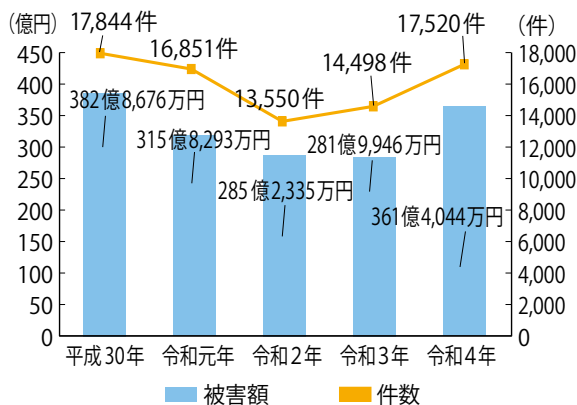
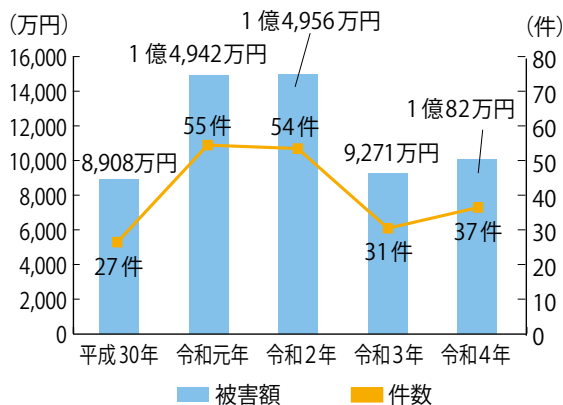


■グラフ1 全国で発生した特殊詐欺の被害件数と金額(平成30年～令和4年)



■グラフ2 県内で発生した特殊詐欺の被害件数と金額(平成30年～令和4年)



【資料：岩手県警察本部提供】

# 巧妙化する手口に気を付けて

# 特殊詐欺から身を守ろう

電話やファクス、メールを使い、顔の見えない詐欺師が私たちから金銭をだまし取ろうとする特殊詐欺。こちらがどんなに用心していても、その手口はより巧妙化し、脅威は衰えません。先月上旬にも近隣市町村で約110万円をだまし取られる事件が発生しています。「私は大丈夫」。根拠のない過信は禁物です。ここでは、特殊詐欺の現状や詐欺師から身を守るための対策などをお伝えします。

## 全国被害36億円 再び増加の傾向

令和4年に発生した全国の特  
殊詐欺の被害件数は、グラフ1  
のとおり1万7520件で、被  
害額は約361億4044万円  
に上り、過去5年間で件数、  
金額共に再び増加傾向を示して  
います。県内の状況を見ても、  
グラフ2のとおり被害件数は37  
件で被害金額は1億82万円と増  
加に転じています。

これらの数値は、あくまでも  
統計上の数値です。中には、詐  
欺被害に遭ったことを誰にも言  
えず、泣き寝入りしてしまうケ  
ースもあるため、実際には、ほ  
かにも多くの被害が出ている可  
能性があります。

振り込め詐欺は、電話と口座  
さえあれば可能なことから、空  
き巣やひったくりなどと比べ、  
犯行上のリスクが低い犯罪です。

そのため、犯人側からすれば、  
どれだけ手間暇が掛かるとして  
も、千件の電話を掛け1件で1  
00万円をだまし取ることがで  
きれば十分なのです。

最近では、現金などを直接自  
宅へ受け取りに来る「振り込ま  
せない詐欺」も増えていて、防  
犯対策が強化されても、次々と  
流行や行動心理を悪用した新た  
な手口が出てくるという「いた  
ちごっこ」の状況が続いている  
のです。

## 特にも高齢者が狙われています

特殊詐欺の被害者の多くは高  
齢者です。警察庁によると、昨  
年中に全国で特殊詐欺の被害に  
遭った人のうち、86・6%が65  
歳以上の高齢者となっています。  
自宅にいる確率が高く固定電話  
に出る機会が多いことが狙われ  
る理由と言われ、多くの人が親



特殊詐欺から身を守るためのポイントを  
山田交番の住吉正幸<sup>まさ ゆき</sup>所長に伺いました。

## インタビュー

# 「相談」の一手間惜しまずに

住吉 正幸<sup>まさ ゆき</sup>山田交番所長

詐欺かどうか分からないときや他人に言いづらいような内容であれば警察に連絡してください。匿名でも構いません。相談する一手間を惜しんでお金を取られてしまつてからでは遅いのです。

特殊詐欺を他人事と思わないでください。先月上旬、町内でも架空料金請求詐欺が発生し、数十万円をだまし取られる被害がありました。このほかにも特殊詐欺の予兆電話が多く確認されています。電話などでお金の話になったら、まずは誰かに相談することが被害を未然に防ぐ何よりも重要なことです。

家族と離れて暮らす人は定期的に連絡を取るなど、相談しやすい関係をつくりましょう。常日ごろ連絡を取り合っていれば、子どもや孫を名乗る電話も声で気付けるはずです。相手が「番号が変わった」「のどの調子が悪い」などと言ってきたら、電話を切って、以前の連絡先に掛け直して確認しましょう。家族に連絡しにくい人は、近所の人と相談しやすい関係を築いておくのも大切です。

### 還付金詐欺

被害件数：4,679件

ワースト1位



税務署や自治体職員などの公的機関の職員を装い「税金・保険料など支払い過ぎていた分を返します」「還付金を受け取れます」などの作り話で電話で指示をしながらATM（現金自動預け払い機）を操作させ、お金をだまし取ります。

### キャッシュカード詐欺

被害件数：3,051件

ワースト3位



警察官などを装い、電話で「キャッシュカードが不正利用されている」などの作り話で暗証番号を聞き出し、自宅を訪れると、被害者が目を離した隙に、あらかじめ用意しておいた偽のカードと本物をすり替え、口座から現金を引き出します。

### 架空料金請求詐欺

被害件数：2,893件

ワースト4位



法務省や裁判所、インターネット事業者を装い、「アダルトサイト利用料金が未納です」「無料期間が経過しましたが退会手続きがまだです」などのメールや郵便を送りつけ、架空の事実を口実に現金や電子マネーをだまし取ります。

## 被害件数多い三つの手口

現在、警察庁で把握している手口は、オレオレ詐欺や還付金詐欺などを含め10種類あります。昨年、全国で発生した特殊詐欺で、被害件数の多かった三つの手口（ワースト2位のオレオレ詐欺を除く）は次のとおりです。

### 被害に遭わない環境づくり大切

心と焦りで正常な判断ができずにだまされてしまいます。

詐欺被害に遭わないためには、普段から家族や友人、近隣同士で相談できる環境づくりをしておくことが大切です。不審な電話が掛かってきた時でも対処できるよう、例えば、家族だけではない知り得ない合言葉を決めておき、電話の相手が本人かどうか確かめることも有効な対策です。

実際にこのような怪しい電話が来たときは、互いに情報を共有したり、宮古警察署や山田交番に相談したりすることも、被害を未然に防ぐために必要なことなのです。

### ◎『ぴかぽメール』の活用を

岩手県警察本部では、特殊詐欺予兆事案などの最新情報をお知らせする「ぴかぽメール」を配信しています。無料で利用できますので、対策の一つとして皆さんも活用してみませんか。



QRコード

### ◆相談先・問い合わせ

警察署 ☎64-0110 ▼宮古交番 ☎82-2155 へ。